※令和４年度以降入学生用

| 学校番号 | １００５ |
|---|---|

# 令和８年度　地理歴史科

| 教科 | 地理歴史 | 科目 | （学）世界史（近現代） | 単位数 | ２単位 | 年次 | ３年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 「詳説世界史」　（山川出版） | | | | | | |
| 副教材等 | 新課程　ニューステージ世界史詳覧　（浜島書店）　自作プリント | | | | | | |

## 1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・２年生で学習した内容に加え、世界史（西洋・東洋）と並行して 18 世紀半ばから現代にかけて学習を進めていく。
・板書の書き写しだけでなく、各出来事について「なぜ起こったのか」を考え、グループで共有する時間を設ける。また、自身が興味をもった内容について、さらに深く調べ、レポートを作成する。
・各地域や各国の歴史を知り、現在に至る様々な諸問題の根底を知る。

## 2　学習の到達目標

社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。
（１）歴史的な事象を、各地域の歴史と、その伝播・交流の歴史との交錯によるものとしてとらえる力を養う。
（２）近代以降の国民国家の形成と世界の諸地域に存在する特有の民族や文化を踏まえ、それぞれの交流と衝突の中で変遷する歴史過程を巨視的に洞察し、表現する力を身につける。
（３）世界の紛争に関心を持ち、二つの世界大戦等について自ら積極的に学び、探究する姿勢を培う。

## 3　評価の観点及びその趣旨

| 観点 | a:知識・技能 | b:思考・判断・表現 | c:主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解しているとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。 | 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりしている。 | 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に探究、解決しようとしている。 |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |
| 1 | アジア諸地域の動揺・帝国主義 | ・西アジア地域の変容<br>・東南アジアの植民地化<br>・第2次産業革命と帝国主義<br>・列強の世界分割と列強体制の二分化 | a：オスマン帝国などにおける動揺や改革の推移を、ヨーロッパ列強との関係ともあわせて理解している。<br>ヨーロッパ各国による東南アジアの植民地化の経緯を理解している。<br>第２次産業革命が社会に与えた影響や、帝国主義時代の欧米列強の国内情勢および植民地拡大にともなう世界分割が、どのように進められたか理解している。<br>b：図像資料などをもとに、この時期のアジア各地での変化や改革について多面的・多角的に考察し表現している。<br>東南アジアの植民地化の地図やゴムのプランテーションを示した図像資料をもとに、ヨーロッパ各国の進出の経緯をふまえ、東南アジアにおける植民地化と世界経済の関係を多面的・多角的に考察し表現している。<br><br>列強の植民地・勢力圏を示した地図や帝国主義を風刺した図像資料をもとに、列強による世界分割が各地に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。<br>c：西アジア・東南アジアの変容、帝国主義や第一次大戦、ロシア革命について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 | 定期考査 | 定期考査 | 提出課題<br>授業観察 |

※令和４年度以降入学生用

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 第一次世界大戦と世界の変容 | ・第一次世界大戦とロシア革命<br>・ヴェルサイユ体制下の欧米諸国 | a：第一次世界大戦とロシア革命がどのように展開したのかを、戦時外交や総力戦の特徴、大戦のもたらした結果などとあわせて理解している。<br>第一次世界大戦後に形成された国際秩序の内容やその特徴、その後の国際関係の変化について理解している。<br>b：塹壕戦やさまざまな新兵器、軍需工場で働く女性の図などの第一次世界大戦に関する図像資料および「平和に関する布告」などの資料をもとに、第一次世界大戦とロシア革命が世界にもたらした変容を多面的・多角的に考察し表現している。<br>各国の国内情勢を写した図像資料や「十四カ条」などの資料をもとに、1920 年代の欧米各国における変容を多面的・多角的に考察し表現している。<br>c：第一次世界大戦とロシア革命について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。<br>ヴェルサイユ体制下の欧米諸国について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 | 定期考査 | 定期考査 | 提出課題<br>授業観察 |

※令和４年度以降入学生用

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 2 | 第二次世界大戦と新しい国際秩序の形成 | ・世界恐慌とヴェルサイユ体制の破壊<br>・第二次世界大戦<br>・新しい国際秩序の形成 | a: 世界恐慌が国際関係に与えた影響や各国の対応策、およびヴェルサイユ体制の崩壊にいたる経緯やファシズム諸国・日本の動きについて理解する。<br>第二次世界大戦の対立の構図と勃発から終戦までの経緯を理解する。<br>第二次世界大戦後に形成された国際秩序の特徴を、それ以前との相違点をふまえて理解している。<br>b:図像資料や統計資料をもとに世界恐慌下の各国における変容を特にファシズム諸国や日本の動きについて、多面的・多角的に考察し表現している。<br>第二次世界大戦の特徴を多面的・多角的に考察し表現している。<br>各国の様子を写した図像資料をもとに、戦後国際秩序下の各国における変容を多面的・多角的に考察し表現している。<br>c: 世界恐慌やヴェルサイユ体制の崩壊について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。<br>第二次世界大戦について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。<br>第二次世界大戦後の国際秩序について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 | 定期考査 | 定期考査 | 提出課題<br>授業観察 |

※令和４年度以降入学生用

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 冷戦と第三世界の台頭 | ・冷戦の展開<br>・第三世界の台頭とキューバ危機<br>・冷戦体制の動揺 | a：冷戦がどのように進展したのかを、各国の社会に与えた影響や核開発の動きなどとあわせて理解している。<br>冷戦のもとで第三世界の台頭がどのように進んだのかや、キューバ危機を経て国際社会が核兵器の制限にどのように取り組んだのかを理解している。<br>ベトナム戦争をはじめとする1960 年代以降の冷戦体制の動揺やその推移を、米ソの代理戦争としての視点や各国における変化をふまえて理解している。<br>b：先進国の平均経済成長率を示した統計資料などをもとに、冷戦下における東西両陣営の社会の変容を多面的・多角的に考察し表現している。<br>当時の世界情勢をふまえたうえで「カストロによる第２次ハバナ宣言」などの資料をもとに、キューバ革命が国際社会に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。<br>1960 年代の各地の様子を写した図像資料や「チェコスロヴァキア共産党行動綱領」などの資料をもとに、冷戦の動揺が各地にもたらした影響を多面的・多角的に考察し表現している。<br>c：冷戦の展開について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。<br>第三世界の台頭とキューバ危機について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。<br>冷戦体制の動揺について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 | 定期考査 | 定期考査 | 提出課題<br>授業観察 |

※令和４年度以降入学生用

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 3 | 冷戦の終結と今日の世界 | ・産業構造の変容<br>・冷戦の終結<br>・今日の世界<br>・現代文明の諸相 | a: 1960～1980 年代の各国の経済や社会の状況を、経済構造の変化をふまえて理解している。<br>冷戦がどのような過程をたどって終結したのか、また、冷戦終結後の各地の状況や地域・民族紛争、経済における世界の一体化について、国際情勢をふまえたうえで理解している。<br>b: 原油価格の推移や経済成長率の推移などの統計資料をもとに、オイル＝ショックが世界の社会と経済に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。<br>1990 年前後の図像資料などをもとに、さまざまな出来事と東西対立緩和の関係を多面的・多角的に考察し表現している。<br>今日の世界が抱えている課題の特徴や傾向を多面的・多角的に考察し表現している。<br>c: オイル＝ショックとその影響について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。<br>冷戦の終結について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。<br>今日の世界が抱えている課題について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 | 定期考査 | 定期考査 | 提出課題<br>授業観察 |

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度